



医療法人
社会福祉法人

養和会

No. 258

令和3年3月発行

きやらぼく

医療法人養和会は設立70周年を迎えます。

CONTENTS

- ・養和会レポート
 - ・医療法人養和会設立70周年
 - ・野球部監督・キャプテン紹介
 - ・研究発表大会
- ・Information
 - ・養和な人ー今月のエキスパート!



養和会グループの求人募集はこちらから →

engage 養和会

🔍 検索

※表紙写真は、仁風荘玄関に飾っているひな壇です。

養和会グループはengageを利用しています。

医療法人養和会は、設立70周年を迎えます。

70th
ANNIVERSARY

Vol.2

昭和36年～昭和45年

養和病院の病床数の増床

昭和36年…160床

昭和41年…220床

昭和45年…264床



養和会野球部監督・キャプテン紹介！



監督

中谷 勇介

精神療養病棟 准看護師



今シーズンより野球部の監督に就任することになりました。

シーズン中は練習や試合で各部署や病棟にご迷惑お掛けしますがそれに見合う成績を出せるよう選手一同努力していきますので応援よろしくお願いします。

全国大会に出場し1勝でも多く結果を残し、養和会の名を宣伝出来るよう選手と共にチーム力をつけていきたいです。

YOWAKAI



キャプテン

足立 大樹

仁風荘 事務員



今シーズンからキャプテンに就任しました、仁風荘 事務員 足立です。

昨年は、コロナ禍で院内外での多くのイベントが中止となりました。

その中でも、野球部の活動に対してのご理解、ご支援を頂き、改めて野球ができる喜びを実感しております。

本当にありがとうございます！職員、ご利用者、地域の方の熱い想いやご声援に結果で応えてみせます。

今年も野球部をよろしくお願い致します。

YOWAKAI

令和2年度 養和会研究発表大会を開催

職に対する意識や質の向上、スタッフ間の情報を共有することを目的とした「令和2年度養和会研究発表大会」を開催した。発表した研究から得られたもの、発表を聴いて得られたものが今後、新たな展開、法人内での他部署連携、他職種連携へとつながっていくだろう。



2月28日(日)、令和2年度養和会研究発表大会を開催した。今年度は、新型コロナウイルス感染予防のため、主会場とした養和病院地域交流ホールでは人数制限を行い、各部署や自宅など、各自が好きな場所から聴講できるようオンライン会議ツール「Zoom」も使用して行った。この日、第1群から5群まで計29演題の発表があり、Zoom参加が54回線、会場には約190人が参加し、様々な事例をもとに、各部署で抱えている問題点や課題、良かった取組みなどを共有した。

「自分らしい生活をめざして」。居宅介護支援センター仁風荘の朝比奈佳子介護支援専門員が発表した演題では、当初、サービス利用に前向きではなかったご利用者が、ご家族からの聞き取りで得られたこれまでの暮らしぶりなどの情報からこれからの生活の意向と解決すべき課題をあきらかにしていき、ご利用者と介護支援専門員との関係構築を築くことができたという事例が発表された。

また、第3群で発表された内容の一つに、“職員健康増進プロジェクト”がある。メディカルフィットネスセンターCHAXが令和2年度に発足させたプロジェクトだ。養和会職員が心身共に健康でいつまでも働ける職場を作ることを目的にスタートさせたもの。ベンチプレス大会、野球大会などのスポーツイベントを実施し、他部署間、他職種交流を図ることができたことの事例や日常業務上から発生する肩こり、腰痛などに対する身体的ケアを行う出張身体ケアサービスや特定保健指導対象職員への栄養指導等を行うなど、様々な取組みによって職員の健康意識の向上などに大きな変化がみられたことの事例が紹介された。



発表する居宅介護支援センター仁風荘
朝比奈佳子介護支援専門員

そして、第4群では、回復期病棟の岩崎大輔作業療法士から、運転再開支援に向けて行った訓練内容や経過についての発表があった。運転再開希望のある方に対して、リハビリを行った結果、車体感覚に対する空間認知の改善がみられたことの事例紹介。

それぞれの発表に対して、事前質問や会場から活発な質問や意見があり、職員のお互いの業務への関心の深さがうかがえた。

最後に、仁風荘の岡田看護部長による総評では、長年続けてきたこの研究発表だが、今年はさらに着眼点が独創的で、今後の展開についても現実的である、また、スライド上での視覚的な表現や伝わる文章などにも工夫がみられた。とのコメントがあった。

各部署、各職種の取組みについての発表を行うことで、職員それぞれの視点での新たな「気づき」が生まれ、新たな法人内連携のきっかけとなったに違いない。



通所リハかみごとう

ネイルで笑顔に！

いつも運動や脳活性を頑張っておられるご利用者の皆さん。

若い頃の様にお洒落を楽しんでほしいという思いからネイル体験のプレゼントをしています。

「やったことないからいいわ。恥ずかしいわ。」と言いつつも実際に体験されると笑顔になり、喜んで帰られます。また明日への活力になればと思います。

(通所リハビリテーションセンターかみごとう
センター長 小松雅来)



今月のエキスパート Vo.12

This month's expert

養和な人

ネイルは、認知症や介護予防効果も期待されており、近年、新たなケアとして注目されている。現在、山陰両県では福祉ネイリストは約10人。若田さんは、施術したネイルを長く楽しんでもらえるようスキルアップしていきたいと笑顔で話してくれた。

高齢者の多いこの地域では必要とされるのではと、取得した福祉ネイルの資格を活かし、現在、養和会をご利用者にネイルを施術している。施術時間になると、まず爪のお手入れをしながら、リラクゼーションした気持ちでネイルをしてもらおうと身近な話をしながら施術する。「ネイルを塗り終えた後、ご利用者が笑顔になる瞬間が一番嬉しいです」と話す若田さん。

通所リハビリテーションセンターかみごとうで月に4回、8〜9人のご利用者にネイルを施術する若田友里さん。
若田さんは、大学在籍中に医療事務の資格をとり、卒業後、資格を活かし、クリニックで勤務。もともとネイルに興味があり、ネイリスト検定3級を取得。そして、さらに技術を磨きジェルネイル上級も取得。働きながら勉強する時間を作ることに苦労したという。



部署異動により、3月から仁風荘事務で勤務。窓口業務となるため、日々、来訪者の対応、毎月、請求業務等を行っている。



若田友里

所属：仁風荘事務
職種：医療事務(平成31年入職)
ネイル歴：8年



養和会

養和会理念

養和会はご利用者の幸せ
地域の幸せ 職員の幸せを追求します。

医療法人養和会 〒683-0841 米子市上後藤3丁目5番1号 TEL 0859-29-5351 FAX 0859-29-7179
社会福祉法人養和会 〒683-0841 米子市上後藤8丁目9番23号 TEL 0859-48-0483 FAX 0859-48-0484

※写真・作品などに関しては、ご本人の了解を得て掲載させていただいております。

こちらからHPもご覧ください

養和会



見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。